

# 第15回全日本ユース(U-15)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2022/12/25】

## この試合のプレー集計

### 準決勝

京都府選抜

13

5	—	3
2	—	3
3	—	0
3	—	5
PSO		

11 高知県選抜

審判：

潮崎 正一  
縄井 裕平

京都府選抜	19	SH数	20	高知県選抜
	4	速攻数	1	
	9	ST・SB	8	
	10	SH・P誘発アシスト	8	
	27%	GK阻止率	13%	
	3	EX反則数	3	

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

### 【試合の流れ】

準決勝第1試合は、この世代の全国大会で連勝を続けている京都の総合力と、コンパクトなディフェンスからローリーを軸とした突破力勝負の高知との対戦となった。準々決勝の富山戦では積極的なボール接点勝負にやや手こずった京都。高知は京都の中心ラインの攻撃をどう防ぐかの攻防が予想される。

#### 【1P】

開始早々の京都攻撃で⑦大前、続けて高知の右サイドをスチールした②城之下がそのまま泳いで2点を連取。高知は⑦ローリーがセンターからのバックシュート、⑥竹川の中ドルレンジからのシュートなどが決まり、序盤から点の取り合いゲームとなった。京都②城之下のボール接点圧力は高知の右サイドを完全に封じ込める形で、そこを起点にした京都の攻撃力が高知を上回るものの、数少ないチャンスで効果的なシュートを決めて何とか食い下がる展開の第1ピリオド(京都5－3高知)。

#### 【2P】

高知ディフェンスがやや前から当たるようになったことで、京都の攻撃を自由にさせない展開が続き、その間に⑦ローリー、⑥竹川が効果的なシュートで粘りを見せた。京都もプレッシャーを受けながら、体格差で勝るポジションから②城之下や⑫高木が決めて一進一退の展開が続いた。高知ディフェンスが若干優勢でゲームを進められたことで、ピリオドは高知が取り、京都7－6高知の1点差で前半を折り返した。

#### 【3P】

高知のファーストアタックからのシュートを京都GK⑬本村がブレイクし、そこから前線に運んで⑫高木が決めて京都が2点差とする。高知の食らいつくプレーに京都が手を焼きながらも、②城之下からのホットラインを受けたエース⑦大前がセンターからのバックシュートを決めて追加点。さらに疲れの見える高知の攻撃を分断し、今度は右サイド⑭沼井からパスを受けた⑦大前がセンターで2人マークを振り切って突き放し、京都10－6高知と完全に京都ペースで最終ピリオドへ。

#### 【4P】

京都の些細なミスに乗じて高知が⑦ローリーを軸に展開し、ペナルティ、退水攻撃を決めて2点を詰める展開。しかし京都も②城之下が中央を突破してゴールをねじ込み、両チームともに中央ラインでの攻防が続いた。こうなるとリードしている京都は取られても取り返せばという展開となり、それほど焦りを出さずにゲームを進め、最終的に京都13－11高知で京都が勝利して決勝進出を決めた。このピリオドは高知⑦ローリーの突破力が目立ったが、京都の中央ラインの強さも出ていて、双方の持ち味を發揮した形となった。